

令和6年度鴨川フォローアップ委員会

鴨川河川整備計画

千年の都・鴨川清流プラン

実施状況

令和7年3月21日

「千年の都・鴨川清流プラン」の位置づけ

鴨川流域
懇談会
〔千年の都と鴨川〕

鴨川河川整備計画

目標期間：概ね30年間（H21(2009)～

I期 水辺の回廊・鴨川創造プラン

対象期間：概ね5年間（H21～H25）

II期 千年の都・鴨川清流プラン

対象期間：概ね5年間（H26～）

	《整備計画の目標》	《重点施策》	《重点施策》	《ページ》
安心・安全の鴨川をめざして	<p>洪水による災害の防止又は軽減に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆河川工事 <ul style="list-style-type: none"> ・下流築堤部(桂川～七条大橋)の河川改修 ・七条大橋より上流の治水対策の検討 ◆ソフト対策 <ul style="list-style-type: none"> ・河川情報発信施設、洪水シミュレーション ・洪水予測の精度向上等 防災訓練、出前講座 ◆河川維持 <ul style="list-style-type: none"> ・河川構造物の点検・修繕等 ・中上流部の中州寄州管理 	<p>◆治水対策の推進 下流築堤部(桂川～七条大橋)の河川改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量・調査・設計 ・H25からの工事着手 <p>中上流部の中州寄州管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七条大橋～二条大橋 ・二条大橋～柵野堰堤 ・環境調査 	<p>◆河川改修の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低水路拡幅(鳥羽大橋～桂川合流点) ・井堰改修(龍門堰) ・高水敷整備(仏光寺通～五条大橋：右岸)他 <p>◆多発する集中豪雨への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水予測の精度向上等 ・河川情報発信施設、洪水シミュレーション <p>◆経験のない大洪水への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治水安全度の向上方策検討(浸水想定区域図) <p>◆適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川構造物の点検・修繕等 ・中上流部の中州寄州管理(中州管理と生物E列ガ) 	5～6 7 8,9
千年の都 京都の美しい鴨川をめざして	<p>流水の正常な機能の維持に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆河川利用と流水の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑を守る条例などとの連携 ・京都市共生プランとの連携等 ・雨水貯留・浸透施設の設置 			
より一層多くの 親しまれる鴨川を めざして	<p>河川環境の整備と保全に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水質の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道管理者との連携 ◆自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境マップ等の作成 ・河川愛護の高揚 ◆景観 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川条例に基づく指導 ・工事看板、占用に対する指導 ◆河川空間利用 <ul style="list-style-type: none"> ・条例・府民会議・バリアフリー等 ・ジョギングロードの整備 ・拠点整備 ・縦断方向の連続性の確保(回廊整備) ・西高瀬背割り堤の整備 ・自転車道整備の検討(桂川合流～五条大橋) ・堤内地を含めた散策コースの検討 ・鴨川を中心としたまちづくりの誘導 	<p>◆公共空間整備 自然環境マップ等の作成</p> <p>アウトドアアクティビティ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギングロードの整備 ・拠点整備 <p>安らぎや憩いを感じるアメニティ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の回廊(鳥羽大橋～御池大橋) ・水とのふれあい回廊(桂川合流点～鳥羽大橋) ・西高瀬背割り堤の整備 	<p>◆良好な水辺環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流況の把握 <p>◆歴史都市・京都における鴨川の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等(室外機対策) <p>◆河川区域内行為の整理、指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法行為への対策 ・不適切行為への対策 	10 11
	<p>◆鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄昏時利用スポットの充実(照明設置を検討・実施) ・川の自然体験スポットの創出(拠点整備を進める) ・鴨川ギャラリー等の整備 ・四季の彩りスポットの整備(フラワースポット等) ・飛石による回廊ルートの強化 ・水辺環境の保全・再生(魚道設置、瀬・淵再生等) ・利用者の快適性の向上(光・映像による演出他) ・河川公共空間の適切な維持管理 <p>◆NPOや大学、地域との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川探検等体験学習や環境教育の展開 	12 13,14		

「千年の都・鴨川清流プラン」の位置づけ

◆鴨川河川整備計画の概要

○鴨川流域の概要

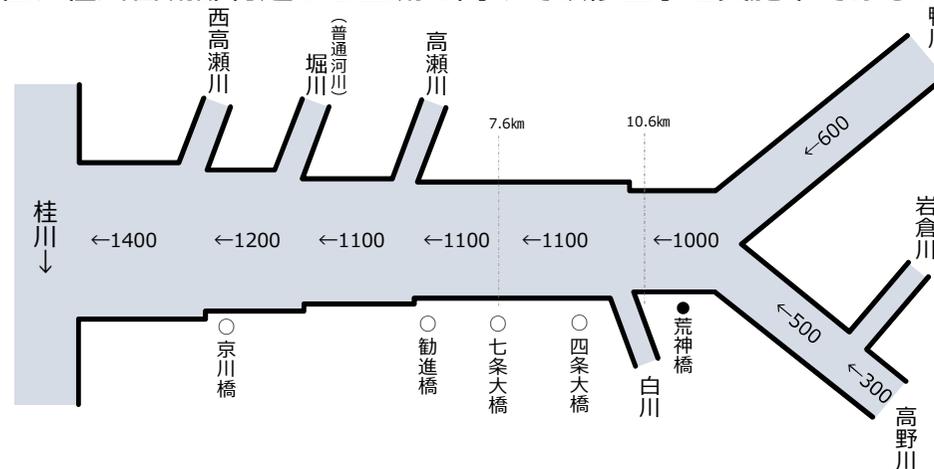
- ・流域面積は210km²であり、京都市と滋賀県大津市にまたがる。
- ・約7割が山地を占め、残り3割の平地は京都盆地とその上に広がる扇状地で形成されている。
- ・流域内には京都市民の半数ほどが居住している。

○鴨川河川整備計画 〈治水〉

河川整備計画とは、今後20～30年間の河川整備の目標や内容を定めたもの。

桂川合流部から七条大橋(約7.6km)において、概ね30年に1度起こり得る降雨(1年間にその規模を超える雨が降る確率が1/30)による洪水(荒神橋地点流量毎秒1,000立方メートル(以下「m³/s」と表記))を安全に流下させることを整備目標として平成22年1月に「鴨川河川整備計画」を策定。

現在、桂川合流部付近から上流に向けて改修工事を実施中である。



〈環境・空間整備〉

下流部においては、護岸の改修にあわせて散策路のネットワーク化や植栽整備により一層親しまれる河川空間の創出を図ること、「鴨川条例」を踏まえ歴史都市・京都にある鴨川の環境、景観の保全を目指すこととしている。



「千年の都・鴨川清流プラン」の位置づけ

◆重点整備区間について

【鴨川河川整備計画（H22.1策定）】

◆整備区間

流下能力が低い築堤区間
(桂川合流部～七条大橋約7.6km)

◆整備内容

概ね1/30規模の河道改修等

【千年の都・鴨川清流プラン（H26.1策定）】

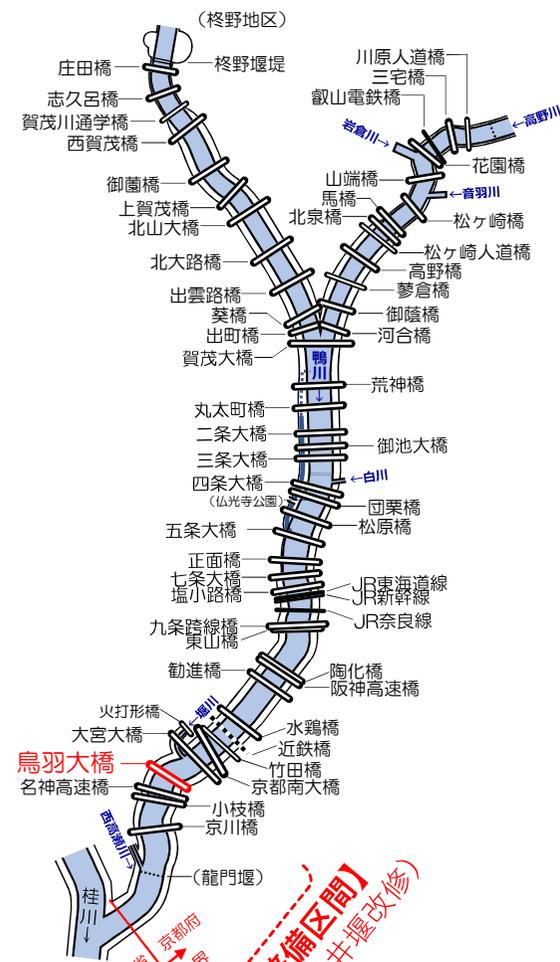
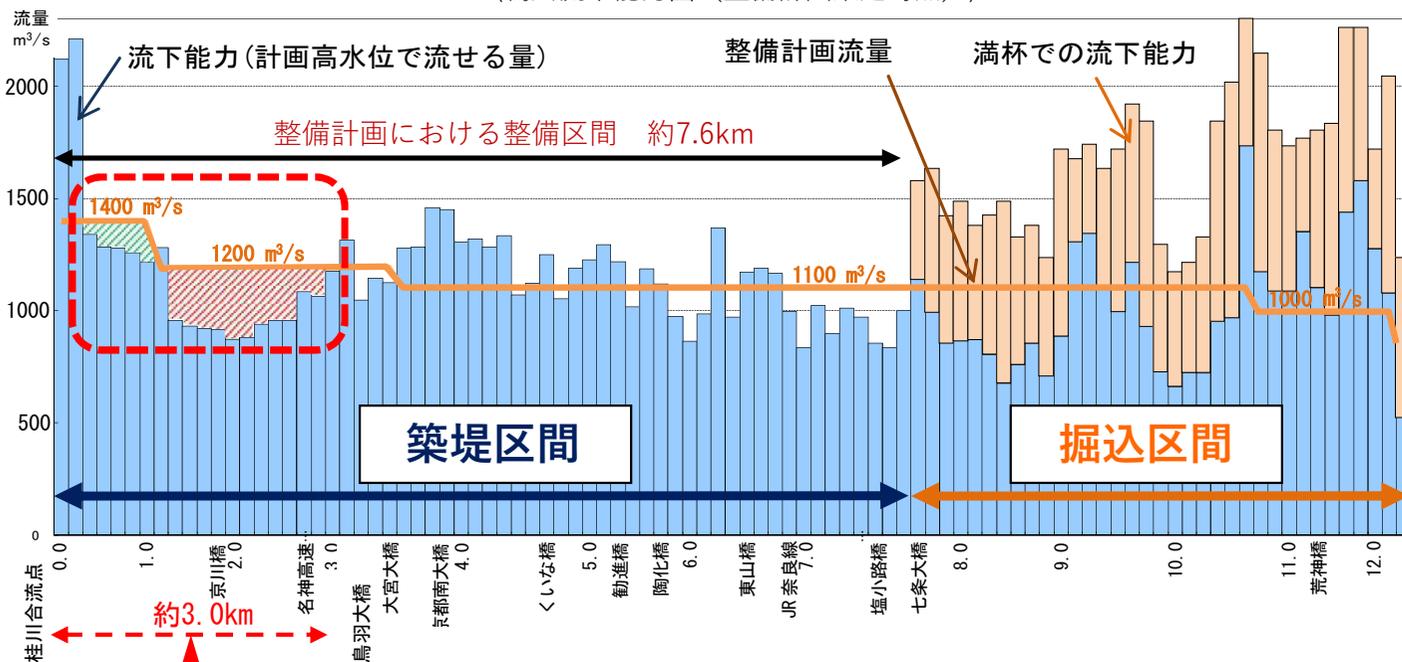
◆重点整備区間

流下能力が低い築堤区間の下流区域
(桂川合流部～鳥羽大橋約3.0km)

◆整備内容

概ね1/30規模の低水路拡幅、護岸整備
井堰改修等

〈鴨川流下能力図（整備計画策定時点）〉



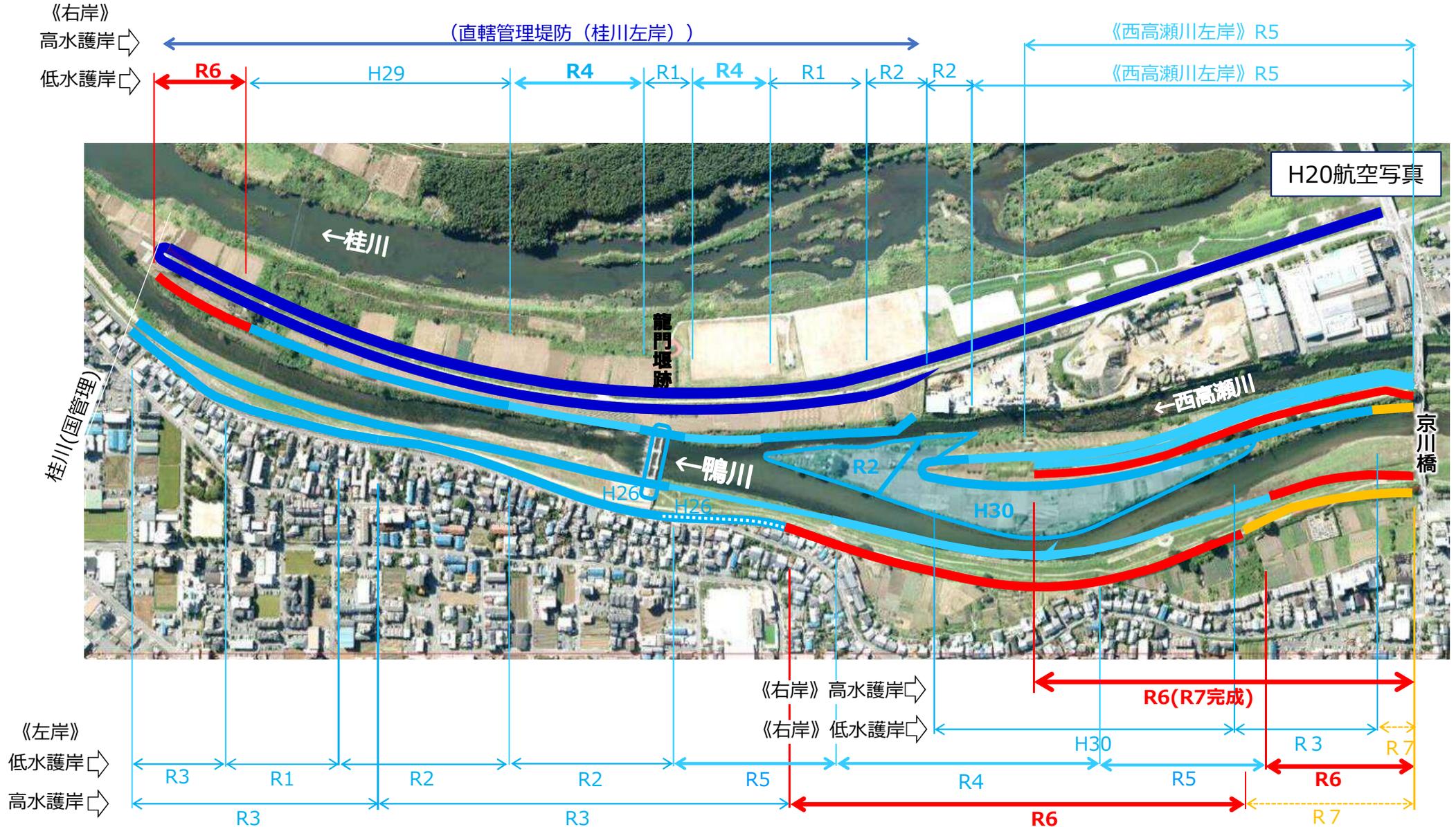
千年の都・鴨川清流プランにおける重点整備区間

【重点整備区間】
(低水路拡幅・井堰改修)

安心・安全の鴨川をめざして【取組内容】

河川改修の着実な推進

・鳥羽大橋～桂川合流部付近の治水安全度向上を図る

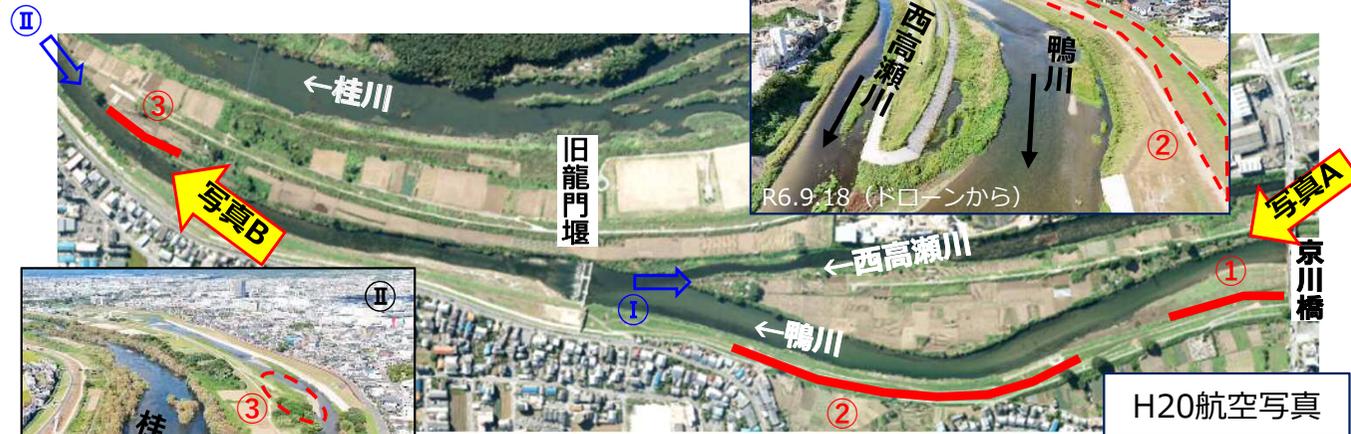


安心・安全の鴨川をめざして【R6年度の取組】

河川改修の着実な推進

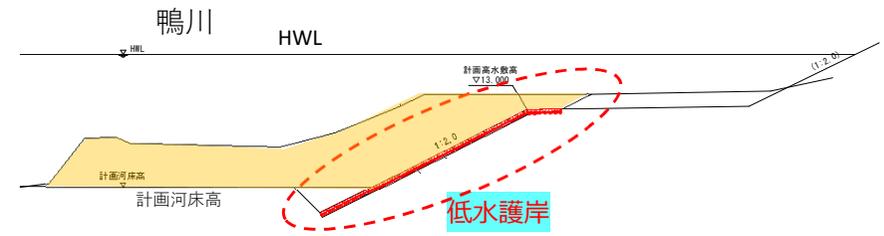
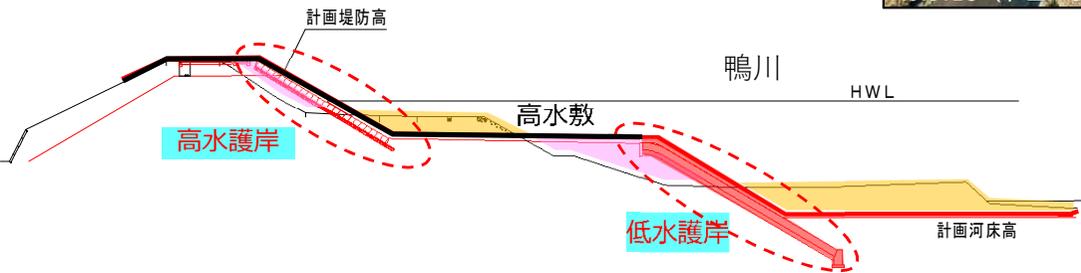
・ R6年度の実施状況

- ①京川橋下流の左岸低水護岸整備
- ②京川橋下流の左岸高水護岸整備
- ③最下流の右岸低水護岸整備



①鴨川 京川橋下流 左岸 (写真A)

③桂川合流付近 右岸 (写真B)



安心・安全の鴨川をめざして【R6年度の取組】

多発する集中豪雨への対応（京都府水位・氾濫予測システムの構築）

- 6時間先までの水位と氾濫時の浸水区域を予測
- 避難情報発令を支援するため、氾濫危険水位等に到達する予測時刻を市町村へアラート通知



○これまでの取り組み

- ・ R3～ システム開発 ・ R5.6～ 京都市等に試行配信開始
- ・ R5 システム改良
(大きな排水機場のポンプ排水考慮, 1時間先まで高精度な雨量予測取込等)

○R6年度システム改良（R7.4～実装予定）

- ・ 直轄河川等堤防の樋門・水門が閉鎖された際の水位上昇を再現
- ・ 任意の水位観測所等をユーザ毎に選択可能なアラート機能

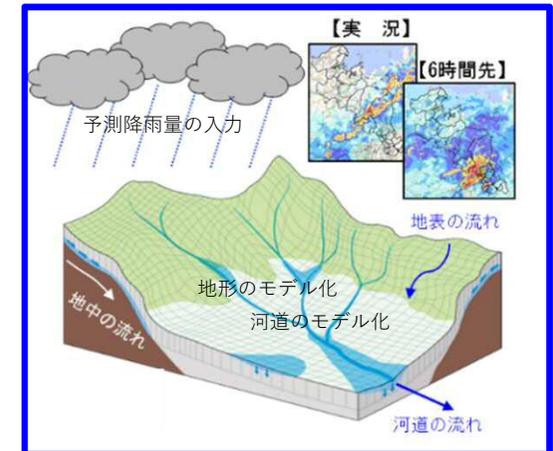
○R6年度運用状況（洪水予報河川と水位周知河川を対象）

- ・ 大雨注意報等や河川実況水位などと予測結果の傾向を分析
- ・ 氾濫危険水位を超えた場合のリードタイムを分析
→鴨川では超過実績なし

○今後の予定

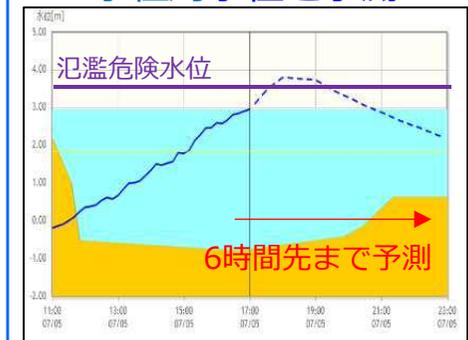
- ・ システム改良後の予測結果のデータ蓄積と分析
- ・ 予測結果の傾向分析等を踏まえ、市町村がきめ細やかな避難情報を発令できるように支援

京都府水位・氾濫予測システム



出力情報

水位局水位を予測



氾濫区域・浸水深を予測



安心・安全の鴨川をめざして【R6年度の取組】

適切な維持管理

【平成21年～令和元年】

中州の管理（浚渫等）を10年1サイクルで実施し、土砂の堆積や流出の傾向を調査。

※10年間の浚渫量 = 約10万m³ ≒ 小学校の25mプール 約330杯分

〈結果〉

- ・昭和10年大水害後の計画河床高と比べ、ほぼ全区間で低下傾向
- ・場所によって土砂堆積が顕著であり、10年で複数回の浚渫が必要

○二条大橋～柵野堰堤

鴨川河川整備計画策定後、平成21年～令和元年の中州管理の実績から**今後10年の土砂堆積を想定し、10年後まで治水安全度を確保できない区間（手当をしないとHWLを超える区間）**を設定。

さらに、危険度に応じて**ランクA～Dに区分**する。（右図参照）

ランクA・・・現時点で整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

ランクB・・・5年後に整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

ランクC・・・10年後に整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

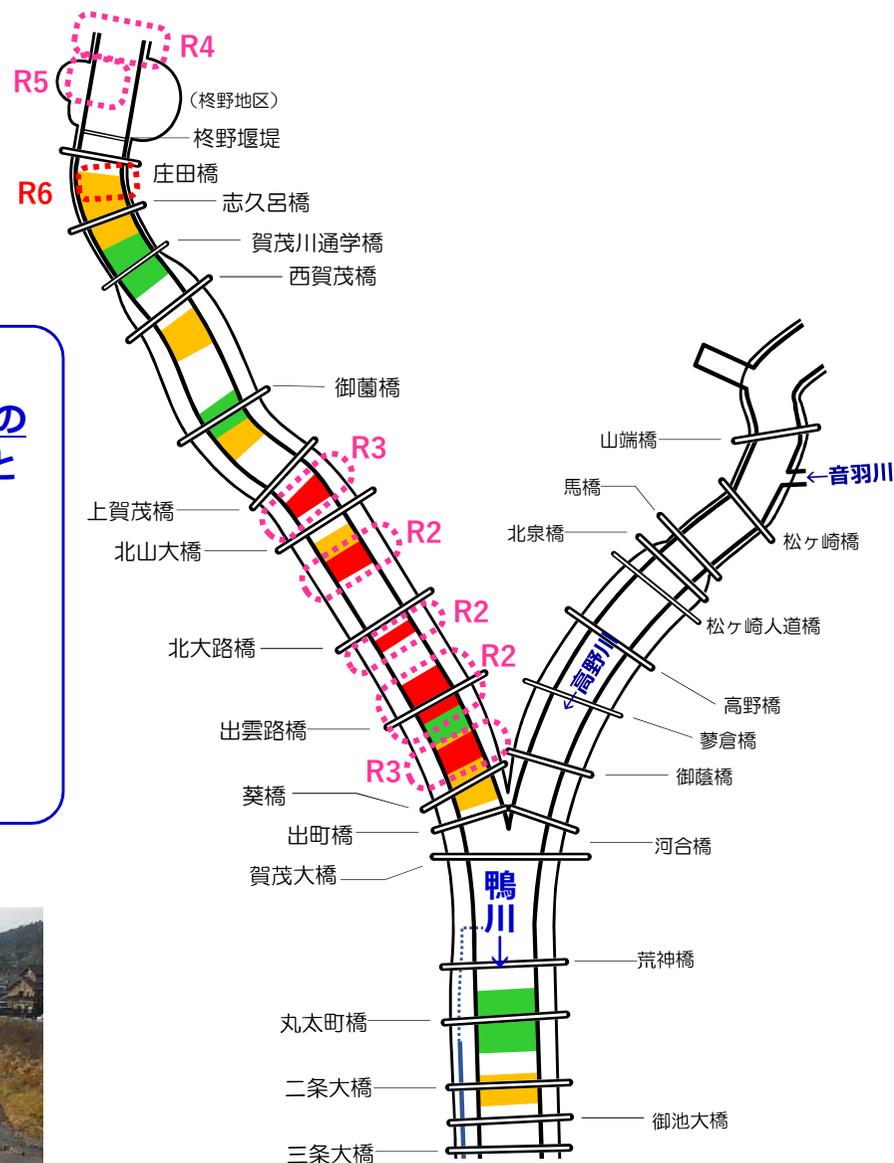
ランクD・・・10年後においても整備目標洪水に対してHWLを超過しない区間

〈R6実施箇所〉庄田橋下流

施工前



施工後(12月末完了)

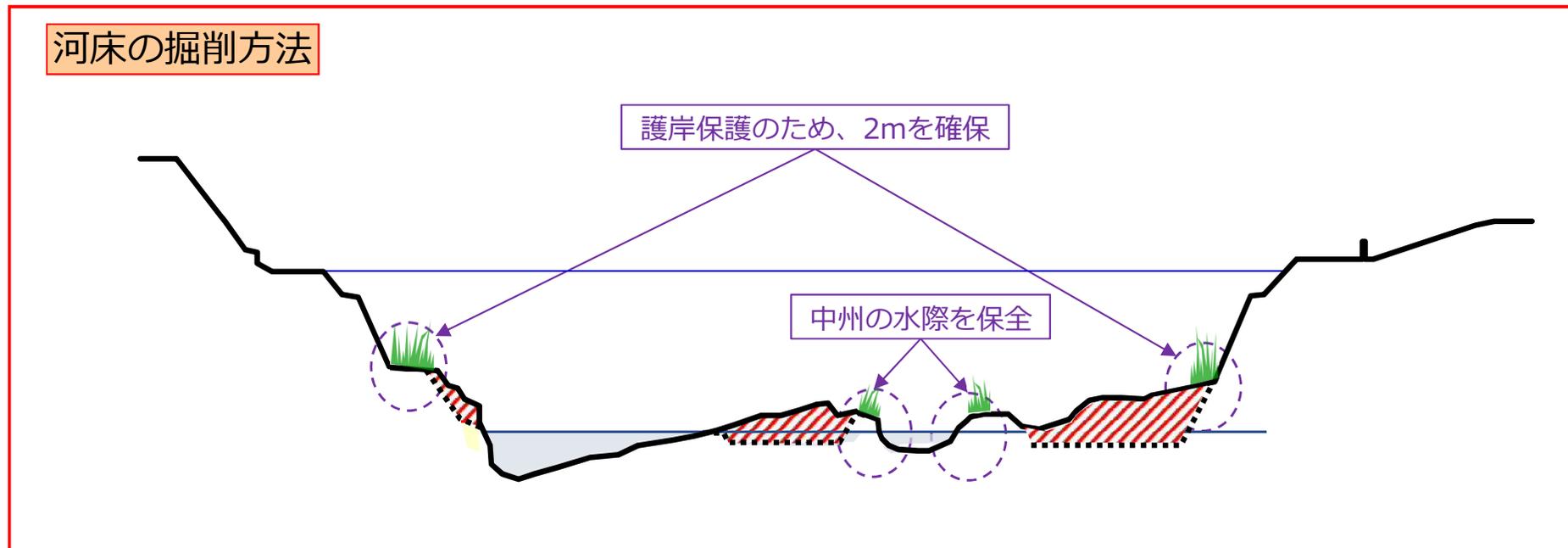


R1年度時点の土砂管理区間設定

安心・安全の鴨川をめざして【取組内容】

適切な維持管理

〈参考〉中上流部の中州寄州管理



- 寄州では深掘れによる護岸の損傷を防ぐため、**護岸付近を幅2m程度残した上で**、掘削を行う。
- また、中州では水際の保全を行うため、**平時における河道の水位※から高さ20cm、幅50cm程度を目安に中洲を残す**ように掘削を行う。

※河道の水位は、H30年度定期横断測量時の水位を使用

中州の掘削箇所において、自然環境に配慮し、かつ効果的な維持管理を行うために実施した **植物・生物調査及び土砂動態調査の結果を京都府HPで公表**

歴史都市・京都における鴨川の保全

・鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等

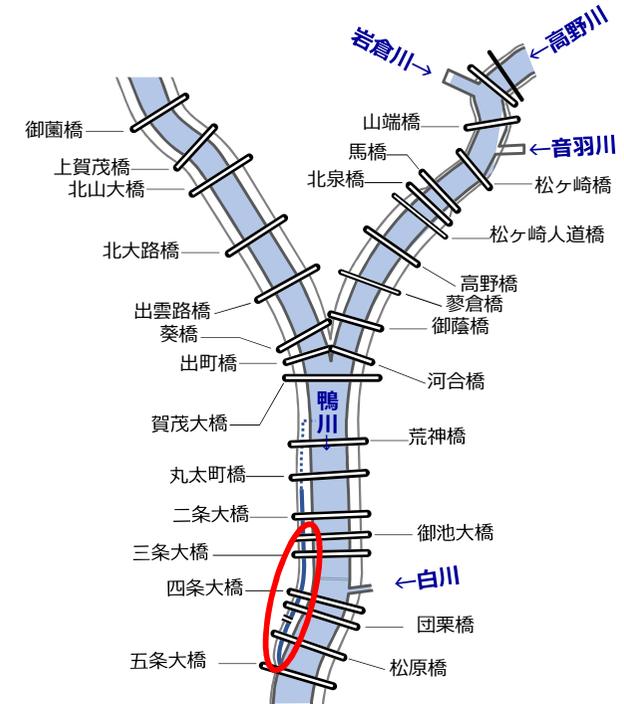
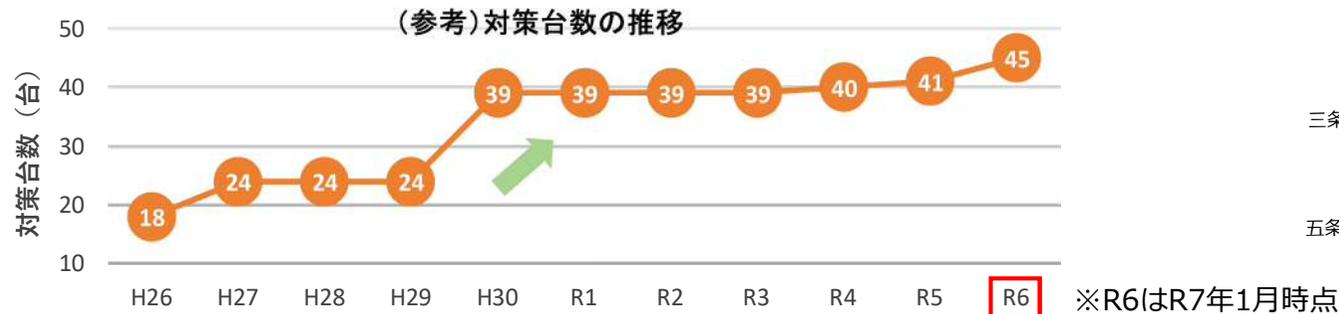
建物等と鴨川が一体となった、歴史都市・京都にふさわしい風情を創出するため、鴨川景観のあるべき姿について検討を実施し、景観形成に資する取組を実施する。

■エアコン室外機対策〈鴨川景観対策事業補助金〉

対象：二条大橋～五条大橋の鴨川右岸（西側）の約300台

補助対象者：対象区間の河川区域に隣接する土地所有者 又は 使用者が構成員となっている団体

補助額：上限1万円～4万円を補助（対策の内容による）〔最低自己負担額1万円〕



対策事例



河川区域内行為の整理、指導等

・不法行為への対策

河川法違反行為（不法占用、不法工作等）、鴨川条例違反行為（BBQ、打上花火等）への適切な対応を行う。

課題：観光客の増加に伴い鴨川河川敷で飲食、飲酒をする人によるゴミのポイ捨てが深刻な課題。

取組：清掃活動や各関係者との協力による合同パトロールの実施、現状周知のための展示会

＜鴨川河川敷の清掃・啓発活動を実施（鴨川定例クリーンハイク3回、各団体クリーンハイク6回、ボランティア団体約300日 京都府335日）＞



＜各関係者との協力による合同パトロールや展示会の実施＞

2年目をむかえた合同パトロール（R5.9から実施）



多言語対応
の啓発ビラ



展示会（6/11～6/30 上京区役所）



より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

【R6年度の取組】

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間の創出

■河川公共空間の適切な維持管理：園路整備（出町橋～北大路橋）

- 従来実施の「土系舗装」は、降雨によりぬかるみや轍ぼれが発生。
- 施工当初の状態を保つためには、定期的な補修が必要。



➢ 透水性高炉スラグ舗装

特徴：鉄を製造する過程で発生する副産物の高炉スラグを使用した舗装
 自然な色合い、高い透水性（参考参照）、
 ソフトな歩行性（土系舗装と同等のクッション性）
 耐用年数15年以上（メーカー調べ）

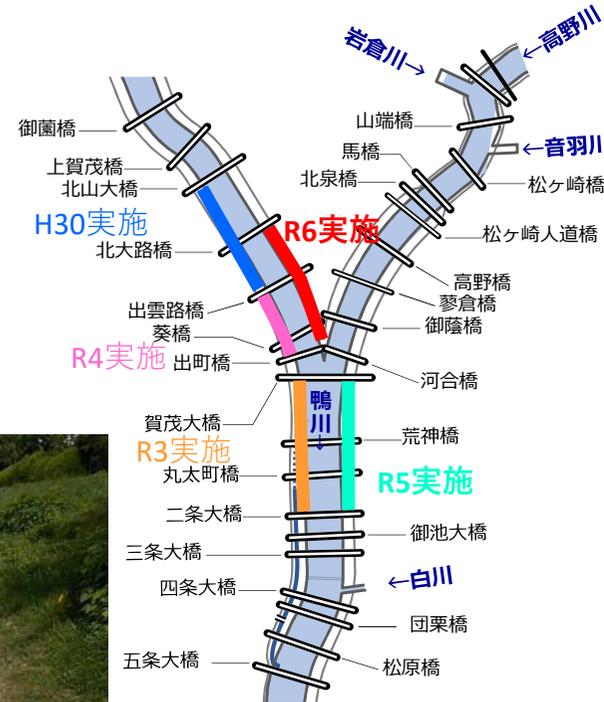
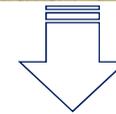
〈参考〉舗装の透水性



水たまりができやすく歩きにくい



水たまりができにくく、歩きやすい



園路舗装改修履歴

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして【R6年度の取組】

NPOや大学、地域との連携・協働

■ 鴨川探検等体験学習や環境教育の展開

鴨川の環境美化啓発活動を目的とする学生団体の主体的な活動を支援すると共に、連携して次世代教育の推進を図る

〈カモシネマ19の実施内容（令和6年8月24日）〉

- 鴨川公園（葵地区）のステージでの映画の野外上映会
- 葵地区周辺及び鴨川デルタなどでの清掃活動
- SDGsの取組について紹介するブースでの啓発活動

〈京都府の連携〉

- 公園使用の安全管理
- 広報・記者発表の調整
- 地元自治会との調整
- 当日の運営補助

【カモシネマ】

鴨川の環境美化啓発活動を目的として、平成17年度に発足。立命館大学広告研究会の有志が活動主体。大学生自らが企画・運営し、鴨川での野外映画上映会、クリーンハイク(清掃活動)、SDGsの取組紹介やまちおこし等に取り組んでいる。



啓発活動ブースの様子



清掃活動の様子



鴨川ギャラリー清掃



映画の野外上映会の様子

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして 【R6年度の取組】

NPOや大学、地域との連携・協働

■ 鴨川探検等体験学習や環境教育の展開

鴨川の魅力を改めて発見し、防災や河川愛護、自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらう。



水辺の自然観察会 (R6.6.2実施)



生き物観察 (R6.7.28実施)



水辺の自然観察会 (R6.10.27実施)

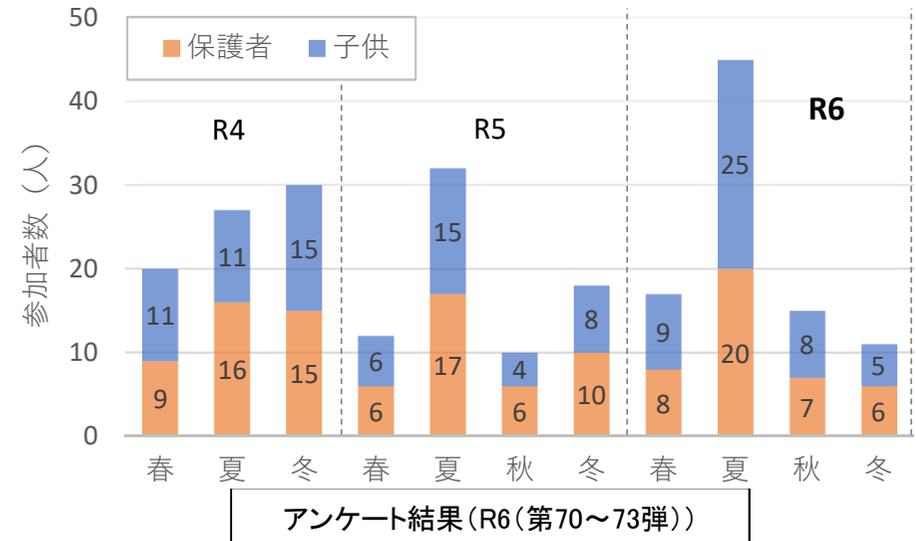
<R6年度開催結果>

対象期間：R6 (第70～73弾)

<4回開催>

参加人数：子供 47人 (33)
保護者 41人 (39)
計 88人 (72)

※カッコ内の数字はR5年度実績



【第70弾 (水辺の自然観察会)】

<子供>

・ちょうをたくさんとれてうれしい。ふだん見ない虫がいっぱいあった。

<保護者>

・昆虫や草花について専門の方々のお話を聞くことができ、子どもの質問にユーモアたっぷりに付き合ってくれた。

【第71弾 (生き物観察)】

<子供>

・鴨川には魚はいないと思っていたけれど、今日の探検で魚がいることが分かった。
・水生昆虫などの種類や形が実物で初めて見る事ができた。

<保護者>

・実際に自分の手でいろんな生きものを捕まえられる体験がなかなかない。
・子供が川で生き物を取るの初めてで、楽しそうにしていた。

【第72弾 (水辺の自然観察会)】

<子供>

・植物は色々知らないことを教えてもらった。

<保護者>

・草を飛ばしたり、草ずもうや実を飛ばしたりと子供が楽しんでた。

【第73弾 (水辺の野鳥観察会)】

<子供>

・マガモが頭の色が変わるのがびっくりした。

<保護者>

・スコープを設置していただいてピンポイントに見せて頂けたことが良かった。
(アオサギ幼鳥の水かきなど)